

WSS睡眠専門医への道

ISMSJ 広報HP委員会 作成
(2018年1月作成 第2.0版)

免責事項:

本スライドの情報は、2018年1月時点でのWorld Sleep Society (WSS) ウェブサイトの記載内容に基づいています。随時アップデートするよう努めますが、受験条件などの情報は今後も変更される可能性があります。ご不明な点は直接WSSにお問い合わせ下さい。

WSSについて

WORLD SLEEP SOCIETY
ADVANCING SLEEP HEALTH WORLDWIDE



Founded by WORLD ASSOCIATION OF SLEEP MEDICINE and WORLD SLEEP FEDERATION

<http://worldsleepsociety.org>

What's World Sleep Society ?

- 従来の**WASM** (World Association of Sleep Medicine)と**WSF** (World Sleep Federation)との統合により2016年に設立された新しい学術団体
- WASM設立の精神を引き継ぎ、睡眠や概日リズム、スリープヘルス、睡眠関連疾患の知識を世界中に啓発することをmissionに掲げています
- 2017年10月に第1回学術集会 (**World Sleep 2017**) をプラハで開催 (隔年開催)
- **ISMSJ**はWSSの関連学術団体に認定されています

WSS睡眠専門医

WSS Home > Programs > Examination

WSSが認定する睡眠専門医とは？

- WSS教育カリキュラムに基づくトレーニングをとおして世界基準の睡眠医学の知識・経験を修得した医師が、認定試験に合格することにより得られる専門医認定
- 『世界基準の睡眠医学を実践するうえでのスタートラインに立ったこと』の認定（資格ではありません）

WSS睡眠専門医を目指そう

WSS睡眠専門医を目指す意義

- 世界基準の睡眠医学を体系的に学んでいくことができます(知識・経験の整理や再確認をするのに最適)
- 『世界基準の睡眠医学を実践するうえでのスタートラインに立ったこと』の証明になります

まずWSS教育カリキュラムを確認

WSS Home > Programs > Examination > Curriculum

- 世界基準の睡眠医学を修得するためのトレーニング指針が、WSSホームページ上に示されています
- 合計20項目のゴールが設定されています
- 修得すべき具体的内容と項目がリストアップされており、それらに沿って学んでいくことが推奨されています

WSS睡眠専門医 認定試験

What's WSS Exam ?

- 2013～2016年までWASM睡眠専門医試験として実施
- 2017年9月にWSS睡眠専門医試験として初めて **World Sleep 2017** (プラハ)に併せて開催
- 試験時間は**4時間**で択一式問題**150問**を解答
 - Part 1 Basic and clinical science (60問)
 - Part 2 Applied methods and standards in sleep medicine (60問)
 - Part 3 Clinical practice (30問)
- 正答率の合格ラインは**70%**に設定

受験資格の概要

以下のいずれかのpathwayの条件をみたすこと:

1. 認定施設における6ヶ月以上の専従研修プログラムを修了した者
(修了証明書の提出を要する)
 2. 認定施設における1年以上の研修プログラム(従事比率50%以上)
を終了した者(修了証明書の提出を要する)
 3. 最低5年間の睡眠診療従事・睡眠教育または睡眠研究の経験を
有する者. 従事比率20%以上で、毎年5時間分以上のCMEと50件
以上のPSG実施を要する. 以上について所属長発行の証明書の
提出を要する。さらに求められた場合は症例記録(logbook)、
PSGレポート、CME証明書を提出しなければならない。
- …本邦にはWSS教育カリキュラム準拠の研修実施施設がないため、
本邦での医療従事者にとっては“3”が現実的な選択肢となる。

出願方法

1. 必要な書類をそろえる

- * 願書 (WSS HP main > Programs > Examination > Application Process)
- * 英文の医学部卒業証明書 (出身大学に問い合わせ)
- * 英文の医師資格証明書 (電子政府の総合窓口e-GOVより申請)
- * 研修プログラム修了証明書[pathway1,2]、または所属長発行の睡眠診療/教育/研究従事証明書[pathway3] (所定の書式なし)
- * Pathway3は求められれば以下を提出;
 - 症例記録 (logbook)
 - PSGレポート (50件以上)
 - CME修了記録 (毎年5時間以上)

2. WSS officeに提出する

- * E-mail添付で提出 (info@worldsleepsociety.org) または
- * 願書に記載されている住所に郵送

所属長発行の睡眠診療/教育/研究従事証明書の作成例

1 September 2015

This is to certify that

Taro Suimin, MD

*has involved in the clinical practice in sleep medicine,
sleep education and sleep research over 5 years at;*

Period	Division, Institute	Location
20XX-20XX	Department of Neurology, XXX Municipal Hospital	Aichi, Japan
20XX-20XX	Department of Neurology, YYY University Hospital	Tokyo, Japan
20XX-20XX	Center for Sleep-related Disorders, ZZZ Hospital	Osaka, Japan

(手筆サイン)

Hanako Suimin, MD, PhD
*Chief Director, Center for Sleep Medicine,
XYZ University Hospital, Tokyo, Japan*

過去/今後の開催

- 2013年** シンガポール※
- 2014年** 香港※
- 2015年** ソウル(**WASM congress**併催)※
- 2016年** 台北(**IPSA congress**併催)※
- 2017年** プラハ(**World Sleep 2017**併催)
- 2018年** 2018年1月時点で予定なし
- 2019年** バンクーバー(**World Sleep 2019**併催予定)

※WASM睡眠専門医試験として開催